

平成30年度各部の重点課題の取組結果

部(局)	都市デザイン部
部(局)長	森本 貞男

【基本姿勢】

都市デザイン部では、道路、河川、公園等の都市基盤施設について災害に強いまちづくりを実現するため、日常の維持補修による安全確保等だけでなく、計画的な維持補修や長寿命化及び耐震化に取り組み、住宅等の耐震化及び空家等対策の促進を図り、公園や広場、緑地については、自然に親しむ場にするとともに災害時の一時避難にも利用できるよう安全で安心な施設として維持保全に努めます。

あわせて、成長と活力及び安全と安心の観点から、柏原市の発展、市民の安全性や利便性の向上を図るために、必要なインフラ整備を推進します。

また、交通安全対策として警察や交通安全協会と連携し、交通事故や放置自転車の減少に努め、市民の交通安全意識の高揚を図るため、啓発活動の充実を図ります。

【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

【重点課題】

	重点課題	平成30年度 達成状況
1	住宅・建築物の耐震化の促進	A
2	空家等対策の推進	B
3	効果的・効率的な道路整備の推進	B
4	バリアフリー化の推進	A
5	計画的及び効果的な維持補修の推進	B
6	交通安全対策の推進	A
7	市民協働による、みどり豊かなまちづくりの推進と安全安心な公園、広場とするための維持管理	B

部(局)	都市デザイン部
------	---------

重点課題 1	住宅・建築物の耐震化の促進
---------------	----------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	住宅・建築物の耐震診断、改修等により耐震化を促進することで、大規模な地震から市民の生命・財産を守ります。
---------------------	--

活動目標
既存建築物の耐震診断、木造住宅の耐震改修の補助制度、新たな制度としての木造住宅の除却の補助制度を実施し、耐震化への支援に取り組みます。また、建物所有者に対し、広報誌や全戸回覧などで制度の啓発に努めます。

具体的な取組実績
耐震化の補助制度として、「診断」・「改修」・「除却」についての補助を行いました。また、耐震化と補助制度の啓発活動については、広報誌掲載、全戸回覧、チラシのポスティング、公用車へのマグネット貼付、市有施設の窓口へのチラシ設置、出前講座、セミナー&個別相談会を実施しました。

達成目標
耐震診断、木造住宅の改修補助及び除却補助を実施することで、大規模な地震で倒壊する可能性の高い住宅等の減少を目標とします。

達成状況	達成度
耐震診断28戸、耐震改修2戸、除却9戸について補助を実施いたしました。	A
	達成

総合評価・総括
耐震診断補助の戸数は、平成29年度の12戸に対し、平成30年度は28戸と大幅に増加しました。新設の除却補助につきましても、予定数の補助ができました。耐震改修補助につきましても、前年度と同じ実績となりましたが、新設する耐震設計補助により、耐震改修の実績は増加するものと考えられます。

部(局)	都市デザイン部
------	---------

重点課題 2 空家等対策の推進

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向
(中期的な目標) 柏原市空家等対策計画に基づき、今後も増加すると予想される空家等について、適正管理の促進に努めます。

活動目標
平成29年度に行った3次調査により把握した管理不全な空家等について、啓発文書の送付や法に基づく助言・指導等を継続して行い、適正管理の促進に努めます。
管理不全な空家等について、関係各機関と連携し、適正管理の促進に努めます。

具体的な取組実績
3ヶ月に一度の定期調査を実施し、「管理不全」と判断した空家等の所有者に対し、適正管理についての啓発文書を送付しました。特定空家等につきましては、空家法に基づく助言・指導等の措置を講じました。
空家等の維持管理の手法がわからない所有者に対して、市より適正管理についての情報提供を行えるよう、公益社団法人シルバー人材センターと連携を行いました。

達成目標
空家等の所有者に対して、啓発文書の送付や助言・指導等を継続して行い、改善や除却を促すことにより、管理不全な空家等の減少を目標とします。
関係各機関と連携し、放置されている管理不全な空家等の減少を目標とします。

達成状況	達成度
空家等の所有者に対して、啓発文書を72件送付しました。空家法に基づく措置は、第12条の助言2件、第14条の指導1件を講じました。総計36戸の空家が改善・除却されています。	A 達成
柏原市と公益社団法人シルバー人材センターとで「空家等の適正管理の推進に関する連携協定書」を締結いたしました。	B 概ね達成

総合評価・総括
啓発文書の送付や助言・指導を行うことにより、36戸の空家が改善・除却されました。また、公益社団法人シルバー人材センターとの連携により、空家等の所有者に対して、空家等の管理手法に関する情報提供を行うことができるようになりました。空家等所有者への啓発活動及び情報提供、助言、指導を行い、空家等への対策に努めます。

部(局)	都市デザイン部
------	---------

重点課題 3	効果的・効率的な道路整備の推進
--------	-----------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	道路の拡幅により、車の通行が困難な危険個所の解消を目指し、広域交通網では、良好な市街地の形成と交通渋滞の解消を図ります。
---------------------	--

活動目標
上市法善寺線は、都市計画道路大泉本郷線の完成後、交通量の増加が見込まれることから、スムーズな交通環境を確保するため、接道交差点の整備に必要な用地取得を進めます。
雁多尾畑地区の交通安全や農業振興を目的に、整備が完成した市道畑信貴線に引き続き、接道している信貴太平寺線の整備を図るため、道路拡幅に必要な用地取得を進めます。

具体的な取組実績
上市法善寺線は、都市計画道路大泉本郷線との交差点部の整備を図るため、道路整備に必要な用地確保に向けて、物件補償算定業務及び用地鑑定評価業務に取り組み、順次、用地取得の交渉を進めています。 また、工事実施に向けての詳細設計業務に取り組んでいます。
市道畑信貴線に接道している信貴太平寺線の整備を図るため、道路拡幅に必要な用地確保に向けて、用地鑑定評価業務に取り組み、順次、用地取得の交渉を進めています。

達成目標
接道交差点部の整備を行うことで、安全で円滑な交通環境及び市民の安全・安心が確保できます。
信貴太平寺線の道路拡幅の整備を行うことで、大型車両と一般車両の相互通行の安全確保や、農業生産の向上が図れることになるとともに、奈良県側から里山公園へのアクセス路になります。

達成状況	達成度
接道交差点部の整備に必要な用地買収について、3件の契約を締結しました。引き続き、ご理解を頂いた土地所有者等へ補償物件の調査を行い、土地価格や物件補償額の算定後、用地取得の交渉を進めています。 また、詳細設計業務を実施したことで、用地買収箇所の工事着手が可能となりました。	A 達成
道路拡幅の整備に必要な用地確保に向けて、土地価格の算定後、用地取得の交渉を引き続き進めてまいります。	C 一部達成

総合評価・総括
各事業における完了目標を目指し、計画的に事業を進め、車の通行が困難な危険個所の解消や良好な市街地の形成と交通渋滞の解消を図る、事業効果を早期に発揮する必要があると考えます。

部(局)	都市デザイン部
------	---------

重点課題 4	バリアフリー化の推進
---------------	-------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	バリアフリー基本構想で定める重点整備地区にある特定経路等のバリアフリー化を行い、歩行者ネットワークを形成します。
---------------------	--

活動目標
近鉄堅下駅及び法善寺駅周辺での利便性及び安全性の向上を図るため、両駅を中心としたバリアフリー化に向けて、堅下駅・法善寺駅周辺地区のバリアフリー基本構想の策定に取り組みます。

具体的な取組実績
近鉄堅下駅及び法善寺駅周辺地区でのタウンウォッチングとバリアフリー基本構想協議会を4回開催し、バリアフリー基本構想策定の検討を行いました。

達成目標
今後のバリアフリー化が推進できるように、堅下駅・法善寺駅周辺地区のバリアフリー基本構想を策定します。

達成状況	達成度
柏原市バリアフリー基本構想を策定し、3月に公表しました。	A
	達成

総合評価・総括
<p>バリアフリー化の推進を図るために、協議会を開催するなどし、目標どおりバリアフリー基本構想を策定しました。</p> <p>ここでは全体の基本方針と基本目標を定めるとともに、重点整備地区を位置付け、バリアフリー化を進める生活関連施設及び生活関連経路を定めています。</p> <p>今後は、この基本構想に基づき、バリアフリー化を進めます。</p>

部(局)	都市デザイン部
------	---------

重点課題 5	計画的及び効果的な維持補修の推進
--------	------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	道路、橋りょう等の維持管理については、計画的な維持補修及び長寿命化に取り組むとともに、点検パトロールの強化や破損個所の緊急的な補修対応により、通行の安全確保や利便性の向上を図ります。
---------------------	---

活動目標
<p>一級河川大和川及び国道25号線を跨ぐ国分寺大橋は、地域防災計画において、地域緊急交通路に位置付けられている路線上の重要な橋であり、ライフサイクルコストの低減と長寿命化及び防災上の安全と安心のため、橋りょう長寿命化計画に基づく修繕と大規模地震に備えた耐震補強工事を行います。</p> <p>また、一級河川石川を跨ぐ玉手橋においては、建設後、90年以上経過し、老朽化しているため、橋りょう長寿命化計画に基づく修繕工事を行います。</p>
<p>道路の維持補修については、計画的な補修を行うため、路面の変状及び異常を把握し、対策の判定診断のもと、舗装修繕計画を更新します。</p> <p>また、道路附属物についても、変状を早期に発見し、適切な措置を行うため、点検及び修繕計画を策定します。</p>
<p>点検パトロールや市民の方からの通報により、道路面や道路肩等の破損、陥没等を発見、または確認した場合は、事故発生防止のため、緊急的な補修等を行うなど、迅速な対応を行います。</p>

具体的な取組実績
<p>一級河川大和川及び国道25号を跨ぐ国分寺大橋につきまして、昨年度に引き続き、橋りょう長寿命化計画に基づき、橋脚損傷部の修繕と大規模地震に備えた橋脚の耐震補強工事を行っています。</p> <p>また、一級河川石川を跨ぐ玉手橋につきまして、橋りょう長寿命化計画に基づき、橋脚損傷部の修繕とコンクリートの剥落防止工事を行いました。</p>
<p>道路の舗装路面における変状及び異常を把握し、対策の判定診断のもと、舗装修繕計画の更新を行いました。</p> <p>また、道路附属物の変状を早期に発見し、適切な措置を行うため、点検及び修繕計画の策定を行いました。</p>
<p>点検パトロールや市民の方からの破損等の通報に伴い、現地確認や調査を行い、補修工事を行っています。2月末時点で約150箇所の道路面や道路肩等の補修を実施しており、今後も迅速な対応を行います。</p>

達成目標
<p>国道25号から国分寺大橋を渡った西側に位置する青谷運動広場は、柏原市地域防災計画において、災害用の臨時ヘリポートや、仮設住宅候補地にもなっていることから、国分寺大橋の耐震補強を行うことで、大規模災害時の救命救助活動や支援物資の輸送等に、重要な役割を果たすことができます。</p> <p>また、玉手橋の修繕は、橋りょう長寿命化や第三者被害防止につながります。</p>
<p>効率的な舗装維持管理の実施により、安全で円滑な交通環境の確保及び市民の安全・安心が確保できます。</p> <p>また、道路附属物の老朽化による事故を未然に防止することにより、安全で円滑な交通環境の確保及び市民の安全・安心が確保できます。</p>
<p>道路等の破損等について、緊急的な補修等を行うことで、車両及び歩行者の通行の安全が確保できます。</p>

達成状況	達成度
<p>国分寺大橋は、一級河川大和川の河川区域内の工事となるため、非出水期（11月1日から5月31日まで）にしか工事が出来ない制約があることから、複数年に跨る工事となります。</p> <p>平成30年度より下部工橋脚1箇所の修繕及び耐震補強工事を実施し、早期の完成を目指します。</p> <p>また、玉手橋は、一級河川石川の河川区域内の工事となるため、非出水期（11月1日から5月31日まで）にしか工事が出来ない制約中、修繕工事を行ったことから、橋りょう長寿命化及び第三者被害防止が図られました。</p>	<p style="font-size: 2em;">B</p> <p>概ね達成</p>
<p>舗装修繕計画を策定したことから、効率的な舗装維持管理が図れ、安全で円滑な交通環境の確保及び市民の安全・安心が確保できる、道路舗装工事に繋がるものとなりました。</p> <p>また、道路附属物におきまして、修繕計画を策定したことから、効率的な舗装維持管理が図れ、安全で円滑な交通環境の確保及び市民の安全・安心が確保できる、附属物修繕工事に繋がるものとなりました。</p>	<p style="font-size: 2em;">A</p> <p>達成</p>
<p>緊急的に補修等を行うことで、車両及び歩行者の通行の安全を確保しております。</p>	<p style="font-size: 2em;">A</p> <p>達成</p>

総合評価・総括

道路、橋りょうの維持管理については、「舗装修繕計画」及び「橋りょう長寿命化計画」に基づき、今後も計画的な維持補修に取り組んでいく必要があると考えます。

部(局)	都市デザイン部
------	---------

重点課題 6	交通安全対策の推進
---------------	------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	自転車等放置禁止区域での放置自転車ゼロを目指します。啓発活動の充実をめざし、市民の交通安全意識の向上を図ります。
---------------------	--

活動目標
自転車等放置禁止区域での自転車等の放置防止の啓発活動を行います。
交通安全キャンペーン、ウェブサイト、フェイスブック、市広報等による啓発活動を行います。市内保育所、幼稚園、小学校等において交通安全教室を実施いたします。

具体的な取組実績
今年度より、新たに「自転車マナーアップキャンペーン」を行い、市内でも特に放置自転車の多い、JR柏原駅にて、多くの市民の方に啓発活動を行うことができました。
市広報に交通安全に関する記事を掲載し、交通安全運動や交通安全キャンペーンの様子をフェイスブックに掲載しました。市内保育所、幼稚園、小学校で春と秋の交通安全教室を実施いたしました。

達成目標
前年度より、放置自転車等への警告及び指導をより徹底し移動保管台数の減少をめざします。
前年度より、市内交通事故発生件数の減少をめざします。

達成状況	達成度
前年度より、放置自転車自体が減少しており、これは以前から取り組んでいる、自転車の放置防止の啓発が、浸透してきているものと思われます。それに伴い、警告札貼付枚数も減少し、移動保管台数も減少しています。	A 達成
平成30年の柏原市内の交通事故件数は、247件であり、平成29年が312件であったので、65件減と大幅に減少いたしました。	A 達成

総合評価・総括
柏原市内の交通事故発生件数は、年々減少しており、特に平成30年は、前年に比べ65件の減と大幅に減少いたしました。また自転車放置禁止区域での放置自転車も近年かなり減少してきていたのですが、平成30年度も減少いたしました。これは以前から取り組んできた市民への啓発活動が浸透し、市民の交通安全意識が向上しているものと思われます。今後も自転車放置防止等の市民への啓発活動を積極的に行い、より一層交通安全教室や交通事故防止の啓発活動等の交通安全運動に取り組み、交通事故発生件数の減少につなげていきたいと思っております。

部(局)	都市デザイン部
------	---------

重点課題 7	市民協働による、みどり豊かなまちづくりの推進と安全安心な公園、広場とするための維持管理
--------	---

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	公園、広場、緑地については、安全で快適な地域のインフラとして、地域の住民の皆様にも愛着をもっていただき、また市民の皆様にとって楽しい、憩いの場となるように目指します。
---------------------	---

活動目標
市民の方々との協働による草花の植栽などを呼びかけ、みどり豊かなまちづくりを進めます。
市内の公園の維持管理として、遊具施設の点検及び補修並びに樹木の剪定を行っていきます。

具体的な取組実績
地域への花苗配布を実施しました。(春：2,960株・24団体、秋：2,800株・26団体)協働緑地でも市民との協働で草花の植栽等を6回実施しました。
遊具点検(102公園、320基)、砂場殺菌清掃(34箇所)、公園ちび広樹木剪定(80箇所)、街路樹剪定(13箇所)、大和川河川敷芝生管理等を実施しました。

達成目標
緑地などの緑化の推進や公園などでの草抜きやゴミ拾い等の簡易な作業について、地域の方々との協働を呼びかけることにより、より地域住民に愛着を持っていただける公園、広場、緑地となります。
公園施設の点検及び補修、樹木の剪定を行うことで、安全・安心な公園として、市民の方々に安全に、楽しく利用していただく、憩いの場となります。

達成状況	達成度
地域で日常の維持管理がされている公園の割合はまだ低い状況であり、高齢化により、現状の体制を維持していくのが難しいとの声も聞かれます。今後は、子育て世代や子どもたちなどの若年層も、公園清掃等の維持管理に協力してもらえるよう、働きかけていきます。	B 概ね達成
遊具については、定期的な日常点検のほか、専門業者による年1回の点検を行い、優先度の高い順から修繕を行っています。今後は、照明灯、あすまや、パーゴラ、ベンチ等、遊具以外の施設についても日常点検で損傷度合を把握し、重大事故が発生する前に修繕を行っていきます。	B 概ね達成

総合評価・総括
台風や地震などの突発的な災害により、ブロック塀対策工事や倒木の処理など、緊急的な対応を迫られる事態が発生したが、限られた人員と予算の中、市内公園の管理水準を極端に落とすことなく維持管理を行うことができました。